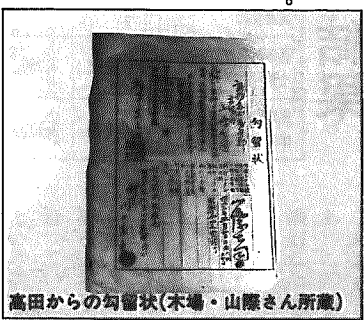


新聞からたどる黒埼の歴史 (七)

突如として頸城自由党員に對する一斉逮捕がはじまり、北辰自由党員山際七司まで逮捕されたこれが有名な高田事件である。

明治十四年末から政府のデフレ政策は、全国に未曾有の不景気をもたらした。とくに米価の暴落は著しく、中・小地主から小作農民に至るまで危機にひんしていった。この事件は北陸七州自由党懇親会に出席し、官憲のスパイとわかり帰郷させられた長谷川三郎の証言にもとづくことが事後はつきりしている。このスパイの証言は頸城自由党員が政府の顛覆を計画しているというところであり、このことが国事犯隠謀事件だということである。しかし、大量に逮捕されたものの証拠ががらみ、最終的には赤井景韶が重懲罰九年の判決をうけた。赤井は酒を飲んで友人に「上京し要路の高官を殺害しよう」といったという。赤井の行為は、過激な世間知らずの若者の夢物語りであり、高田事件は頸城自由党員の急進化を恐れた官憲が、巧妙な計画のもとで仕組んだ自由党弾圧事件の一つであった。このとき七司は百二十日の監禁をうけた。

自由党の激化期は福島県をはじめとし高田事件、群馬事件、加津山事件、秩父事件、



高田からの拘留状(木場・山際さん所蔵)

さて弱っている該工事場の入足に薬を煎じて与えた。*児玉新太郎は仲町・児玉勇雄さんの曾祖父にあたり明治二、三ころ児玉薬局を開業した人物。施薬はこの年だけなく新聞によれば、この後何回となくなされている。新潟新聞、西蒲原郡についてのルポを紹介

自今政治思想を持ってこの改良をはかるのに熱心な者は板井村萩野左門、黒鳥村鷺尾政直、東中村小柳卯三郎、熊ノ森村、山村嘉平太などである。(中略)商業は何もふるわず金融はすこぶる悪し到底米価が騰貴しない限り不振を挽回することはできない。(中略)内部には種々の困難がある。(後略)

鷺尾政直は黒鳥村庄屋の家に生まれ庄屋職を継ぐ。明治十九年黒鳥村外八カ村の戸長となり明治三十四年黒崎村合併時の中心人物だった。その後内務省土木技師をつとめ、生涯土地改良事業に貢献した治水功勞者として明治三十六年六月藍綬褒賞をうけ、大正元年七二歳で没す。

高田の変報(山際七司捕縛) 明治十六年三月二十一日記事 昨夜十二時頃、突然高田警察署より一通の電報が県庁へ達するや、木梨大書記官、井上警部長には直に県令の内宅へ走付られ、しばらく密議ありし末、至急警部丹羽清五郎及び御用掛柴田克己の両氏を召され、柴田氏はその座に於て警部を拜命し内命を受けて巡査三十名に各々帯剣せしめ、警部両氏には短銃を携えて昨朝五時三十分安全社の汽船一艘を買上げ高田へ向けて出張せられたり。(中略) 昨日早朝より探訪者を四方へ馳せて事の様子を探訪せしめられたりも何分にも暗号電報にてその探緒を探ぐるに由なく唯高田に於て事象の起りしとのみ漏れ聞きたるに過ぎず。又電報

前略 突然自由党員八木繁社氏を始めとし、県議員某その他自由党員数十名を捕縛せられ尚連類の者もある由：高田事件(国事犯内乱予備罪) 明治十六年四月八日記事 同事件の一説を聞くに今回拘置せられたりは、長州出身の参議一名を暗殺せんと陰謀が露見せしものとこのことなれど真偽は素より保証せず。同日 同事件に山際七司連座拘留の身となる。

高田へ拘留の自由党員諸氏は、平素に交りなき壯健と見え、読書の声朗々監外に溢れ、人をして転た一層の感慨を催うさしむると同地よりの報知 慰問 高田へ拘留中の山際七司への慰問として同氏の親戚一同が協議の上西蒲原郡黒鳥村鷺尾政直氏を惣代に遣

わされたりと。高田事件 同事件に關し一時は三十人も拘引されしが、審問の上放免或は保釈責任にて出獄せしもの陸續とあり、當時なお入監中の人は山際七司、加藤勝弥、長谷川三郎、井上平三郎風間安太郎、赤井景韶の六氏のみなりといふ。 堀村 北辰自由党員山際七司、加藤勝弥の両氏は兼て責付中のところ、この程高田裁判所支部に於て堀村を差許され山際氏は昨日堀村せられたりと。この事件は明治十六年三月十四日から三日間、富山県の高岡で若狭、越前、加賀、能戸、越中、越後、佐渡の県下自由党有志四百人が集まって北陸自由党懇親会が開かれた。この会合から代表が帰郷してまもない三月二十日早晩

山際七司が獄中で書いたメモ

山際七司が獄中で書いたメモ

山際七司が獄中で書いたメモ

山際七司が獄中で書いたメモ

山際七司が獄中で書いたメモ

山際七司が獄中で書いたメモ

山際七司が獄中で書いたメモ

山際七司が獄中で書いたメモ

助役に本間博氏、収入役に横木正義氏

三月二十五日の三月定例会で、議会は前新潟県企業局総務課参事(課長補佐)の本間氏博の助役選任と前助役の横木正義氏の収入役選任案に同意しました。



本間 助役

助役就任のあいさつ

陽春の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私こと、このたび四月一日付をもちまして黒埼町助役を拝命いたしました。まことに身に余る光栄であるとともに、黒埼町が大きく発展しようとする重要な時期に助役に就任させていただき、その職責の重大さを改めて痛感しております。何分にも浅学非才の身でございますので、何かとお世話になること存じますが、よろしくお願ひ申し上げます。



横木 収入役

収入役就任のあいさつ

春暖の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私こと、去る三月三十一日付けをもって黒埼町助役を退職することになりました。在職中は議員各位をはじめ、皆様方から公私ともに格別なご指導、ご支援を賜り、大過なくその任をまっとうできましては、ひとえに皆様のご指導、ご支援の賜と深く感謝申し上げます。このたび、はからずも四月一日付けをもちまして黒埼町収入役を拝命いたしました。何分にも浅学非才の身とて、なにかとお世話になること存じますが、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

昨年43人がガンで死亡

5月に胃ガン・大腸ガン検診、婦人(子宮ガン)検診を実施

5月7日からガン検診が始まります。胃・大腸・子宮ガン検診は早期発見が目的です。黒埼町で昨年ガンで亡くなった人は43人でした。死亡者のほとんどは自覚症状があつたあと医療機関で受診した人でした。つまり手遅れだったわけですが、胃・大腸・子宮ガンは「早期ガン」のうちに見えれば、ほとんど完全に治ります。毎年検診を受けていけば、自覚症状のない早期ガンのうちに発見できます。ぜひこの機会に検診を受けてください。

5月7日からガン検診が始まります。胃・大腸・子宮ガン検診は早期発見が目的です。黒埼町で昨年ガンで亡くなった人は43人でした。死亡者のほとんどは自覚症状があつたあと医療機関で受診した人でした。つまり手遅れだったわけですが、胃・大腸・子宮ガンは「早期ガン」のうちに見えれば、ほとんど完全に治ります。毎年検診を受けていけば、自覚症状のない早期ガンのうちに発見できます。ぜひこの機会に検診を受けてください。

5月7日からガン検診が始まります。胃・大腸・子宮ガン検診は早期発見が目的です。黒埼町で昨年ガンで亡くなった人は43人でした。死亡者のほとんどは自覚症状があつたあと医療機関で受診した人でした。つまり手遅れだったわけですが、胃・大腸・子宮ガンは「早期ガン」のうちに見えれば、ほとんど完全に治ります。毎年検診を受けていけば、自覚症状のない早期ガンのうちに発見できます。ぜひこの機会に検診を受けてください。



5月7日からガン検診が始まります。胃・大腸・子宮ガン検診は早期発見が目的です。黒埼町で昨年ガンで亡くなった人は43人でした。死亡者のほとんどは自覚症状があつたあと医療機関で受診した人でした。つまり手遅れだったわけですが、胃・大腸・子宮ガンは「早期ガン」のうちに見えれば、ほとんど完全に治ります。毎年検診を受けていけば、自覚症状のない早期ガンのうちに発見できます。ぜひこの機会に検診を受けてください。